

サービス名	サービス内容	現在の利用状況		今後3年以内の利用予定	
		利用している	利用していない	利用したい	今のところ必要ない
サービス名	サービス内容				
⑱	保育所等 訪問支援	1	2	1	2
⑳	福祉型 障害児 入所施設	1	2	1	2
㉑	医療型 障害児 入所施設	1	2	1	2
㉒	障害児 相談支援	1	2	1	2
㉓	計画相談支援	1	2	1	2
㉔	地域移行支援	1	2	1	2
㉕	地域定着支援	1	2	1	2

サービス名	サービス内容	現在の利用状況		今後3年以内の利用予定	
		利用している	利用していない	利用したい	今のところ必要ない
⑬	就労移行支援	1	2	1	2
⑭	就労継続支援	1	2	1	2
⑮	就労定着支援	1	2	1	2
⑯	児童発達支援	1	2	1	2
⑰	放課後等 デイサービス	1	2	1	2
⑱	居宅訪問型 児童発達支援	1	2	1	2

問 27 あなたは次の地域生活支援事業を利用していますか。またこれから利用する予定はありますか。

次の①～⑩のそれぞれのサービスについて、「現在の利用状況」と「今後3年以内の利用予定」の両方についてお答え(番号に○)ください。

サービス名	サービス内容	現在の利用状況		今後3年以内の利用予定	
		利用している	利用していない	利用したい	利用しない
① 成年後見制度 利用支援事業	判断能力が十分でない人が、財産管理・各種福祉サービス等の利用契約・遺産分割等の法律行為を行う必要がある場合に、市町村長の申立てにより家庭裁判所が選任した成年後見人等が本人の福祉や生活などに配慮しながら支援を行う	1	2	1	3
② 手話通訳派遣 事業	聴覚に障害のある方のコミュニケーションを確保するため、手話通訳の派遣を行い、社会生活上で必要な外出などの支援を行う	1	2	1	3
③ 要約筆記派遣 事業	聴覚に障害のある方が、社会生活を営む上で必要な会合に出席する場台等において、円滑に意思の疎通ができるよう要約筆記者を派遣する	1	2	1	3
④ 日常生活用具 の給付	介護支援用具や自立支援用具などを給付することで、日常生活の便直を図る	1	2	1	3

サービス名	サービス内容	現在の利用状況		今後3年以内の利用予定	
		利用している	利用していない	利用したい	利用しない
⑤ 移動支援事業	屋外での移動が困難な重度の障害のある方(子ども)が区役所などへ行く時や余暇活動外出をする時に、ガイドヘルパーを派遣し、社会参加の促進を図る	1	2	1	3
⑥ 地域活動支援 センター	創作活動又は生活活動の機会を提供し、社会との交流の促進などを行う	1	2	1	3
⑦ 訪問入浴 サービス事業	看護師及びヘルパーが乗車した入浴車が対象者の世帯を訪問し、入浴介護を行う	1	2	1	3
⑧ 福祉ホーム	現に住居を求めている障害のある方に対し、低額な料金で居住その他の設備を利用させるとともに、日常生活に必要な便直を図る	1	2	1	3
⑨ 日中一時支援 事業(日帰り シヨート)	施設などで障害のある方(子ども)の日中における本人の活動の場を確保するとともに、家族の介護負担の軽減と就労の支援を行う	1	2	1	3
⑩ パソコン サポート	パソコンや周辺機器の使用方法に支援を必要とする方に、パソコンサポートを派遣し、パソコン操作を指導する	1	2	1	3

サービス名	サービス内容	現在の利用状況		今後3年以内の利用予定	
		利用している	利用していない	利用したい	今のところ必要ない
① 障害者スポーツ教室	体力増強や交流、余暇等の充実と障害者スポーツの普及を図るため、各種スポーツ・レクリエーション教室を開催する	1	2	1	3
② 中途視覚障害者緊急生活訓練事業	生活の質の向上を図り、社会参加を促進することを目的として、障害のある方等に対して歩行訓練、コミュニケーション訓練、身辺・家事管理など日常生活上必要な訓練等を行う	1	2	1	3
③ 重度障害者大学等進学支援事業	重度訪問介護を利用している人、もしくは重度訪問介護の対象になる人に対して、自宅から大学等への移動と学校内での活動（排せつや食事等含む）をヘルパーが支援する	1	2	1	3
④ 重度障害者等就労支援特別事業	重度訪問介護、同行援護又は行動援護の決定を受けている人で、民間企業に雇用されている人や自営業の人に対して、通勤や職場においてヘルパーが支援する	1	2	1	3

問28 「失語症者向け意思疎通支援者派遣事業（失語症のある人のコミュニケーションや外出等を支援する事業）」があれば利用したいですか。(〇は1つ)

01. 利用したい 02. 利用したくない 03. わからない

【障害のある人の人権や差別問題についておたずねします】

問29 障害者差別解消法・北九州市障害者差別解消条例について知っていますか。

(〇は1つ)

01. 名前も内容も知っている
 02. 名前を聞いたことはあるが、内容は知らない
 03. 知らない

【最後に行政へのご意見・ご要望などがあれば、ご自由にお書きください】
 ご意見・ご要望等

以上で終わりです。長い時間、ご協力ありがとうございました。

どうぶつ
 同封している商品について

北九州市内の障害福祉サービス事業所や小規模共同作業所などでは、障害のある方が様々な仕事に取り組みながら働いています。

同封の商品は、こうした事業所などで、障害のある方がひとつひとつ心をこめて作ったものです。どうぞお使いください。

3. 市政モニターアンケート 調査票

令和7年度 第8回市政モニターアンケート

「障害福祉施策について」

本市では、保健・医療・福祉など総合的な障害福祉施策について、今後、各障害福祉サービス等の見込み量や成果目標を定めた（仮称）「第8期北九州市障害福祉計画」・「第4期北九州市障害児福祉計画」を令和8年度中に策定することとしています。

つきましては、障害福祉施策に関するご意見・ご要望を伺う「アンケート」を実施し、その結果を本計画の基礎資料とするとともに、今後の本市の障害福祉施策の推進の参考にさせていただきたいと考えております。

皆様の御協力をお願いいたします。

※調査票は「問14」まであります。

1. 障害のある人への理解や関心について

問1 あなたは、今までに障害のある人に接したり、交流したりした経験がありますか

- 1 ある
- 2 ない

問2 <問1で「1 ある」と答えた方におたずねします>

それはどのような障害のある人に接したり、交流したりしたのですか（〇はいくつでも）

- | | | |
|------------|------------|--------------|
| 1 身体障害のある人 | 2 知的障害のある人 | 3 精神障害のある人 |
| 4 発達障害のある人 | 5 難病患者の人 | 6 その他の障害のある人 |

問3 <問1で「1 ある」と答えた方におたずねします>

それは具体的にどのようなことですか（〇はいくつでも）

- 1 身内や親しい人に障害のある人がいる。または、過去、いたことがある
- 2 隣近所に障害のある人が住んでいる。または、過去、いたことがある。
- 3 仕事で障害のある人と接している。または、過去、接したことがある
- 4 イベントや行事、趣味等の活動やボランティアで交流している。または、過去、交流したことがある
- 5 車椅子を押したり、視覚に障害のある人の道案内（誘導）を手伝ったりしたことがある
- 6 列車やバスなどで席を譲ったり、バスなどの乗降時に手助けしたりしたことがある
- 7 訪問したり、相談相手や話し相手になったりしたことがある
- 8 その他（具体的に： ）

問4 <問1で「2 ない」と答えた方におたずねします>
 接した経験がない理由は何ですか（〇はいくつでも）

- 1 接する機会やきっかけがなかった
- 2 どのように接したらよいかわからなかった
- 3 おせっかいのような気がした
- 4 気恥ずかしさを感じた
- 5 関心がなかった
- 6 その他（具体的に： _____）

問5 あなたは、障害福祉に関心をお持ちですか（〇は1つだけ）

- 1 大変関心がある
- 2 ある程度関心がある
- 3 あまり関心がない
- 4 ほとんど関心がない

問6 <問5で「1 大変関心がある」または、「2 ある程度関心がある」と答えた方におたずねします>
 どのような理由から関心をお持ちですか（〇はいくつでも）

- 1 身内や親しい人、隣近所に障害のある人がいる
- 2 自分も障害のある人になる可能性がある
- 3 テレビなどで障害福祉に関することを目にする
- 4 特に理由はないが、以前から関心を持っている
- 5 福祉や医療に関する職業に就いている
- 6 障害のある人に関するボランティア活動をしている
- 7 自分自身にも障害がある
- 8 その他（具体的に： _____）

問7 あなたは、日常生活や地域で障害のある人に対する差別・偏見などを感じることはありませんか（○は各々1つだけ）

(1) 身体障害のある人に対して

- | | | |
|-----------|-----------|---------|
| 1 よく感じる | 2 ときどき感じる | 5 わからない |
| 3 あまり感じない | 4 感じない | |

(2) 知的障害のある人に対して

- | | | |
|-----------|-----------|---------|
| 1 よく感じる | 2 ときどき感じる | 5 わからない |
| 3 あまり感じない | 4 感じない | |

(3) 精神障害のある人に対して

- | | | |
|-----------|-----------|---------|
| 1 よく感じる | 2 ときどき感じる | 5 わからない |
| 3 あまり感じない | 4 感じない | |

(4) 発達障害のある人に対して

- | | | |
|-----------|-----------|---------|
| 1 よく感じる | 2 ときどき感じる | 5 わからない |
| 3 あまり感じない | 4 感じない | |

(5) 難病患者の人に対して

- | | | |
|-----------|-----------|---------|
| 1 よく感じる | 2 ときどき感じる | 5 わからない |
| 3 あまり感じない | 4 感じない | |

問8 <問7で一つでも「1 よく感じるがある」又は「2 ときどき感じるがある」と答えた方におたずねします>

どのようなところに最も強く障害のある人に対する差別・偏見、または配慮のなさを感じますか（○はいくつでも）

- 1 仕事や収入（職場環境や就労条件、賃金など）
- 2 道路、建物の構造や設備
- 3 公共施設、交通機関
- 4 教育の機会
- 5 隣近所のつきあい
- 6 お店や各種窓口などでのサービス
- 7 サークル・スポーツへの参加
- 8 地域行事・地域活動
- 9 情報の提供（災害時などを含む）
- 10 住まいなどの契約（アパートやマンションなどの賃貸契約など）
- 11 その他（具体的に： _____）

2. 北九州市の障害福祉施策の取り組み状況について

【障害のある人の雇用・就業機会の確保と拡大】

問9 北九州市では、働く意欲のある障害のある人の雇用を促進するため、障害者しごとサポートセンターを設置し、障害のある人への就労支援に取り組んでいます。

また、企業での障害のある人の雇用を促進するための取り組み、一般企業等での就労が困難な人に働く場を提供し、必要な支援を行う就労継続支援事業所等の充実などにも取り組んでいます。そこで、おたずねします。

あなたは、北九州市では、障害のある人の意欲や能力に応じた多様な就業機会が確保されてきたと感じますか。(〇は1つだけ)

- 1 そう感じている
- 2 どちらかといえばそう感じている
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえばそう感じていない
- 5 そう感じていない
- 6 わからない

【障害者差別解消法や北九州市障害者差別解消法の周知】

問10 平成28年4月1日、障害を理由とする差別を禁止して、障害のない人との平等な機会や待遇を保障するために「障害者差別解消法」が施行されました。

この法律は、差別を解消するための措置として、国・地方公共団体等及び民間事業者に対して「不当な差別的取扱いの禁止」と「合理的配慮の提供」が義務付けられています。

また、本市では、「北九州市障害者差別解消法」を補完し、市、事業者および市民が協力して、「障害を理由とする差別」の解消に向け主体的に取り組む、共生社会の実現を目指すための「障害者差別解消条例」を制定しています。

あなたは、「障害者差別解消法」や「北九州市障害者差別解消条例」をご存知ですか(〇は1つだけ)

- 1 内容も知っている
- 2 聞いたことがあるが、内容は知らない
- 3 知らない

【障害のある人の人権の尊重】

問 1 1 北九州市では、障害や障害のある人に対する正しい理解を深め、障害の有無にかかわらず、お互いの人権を尊重できる社会を実現するため、行政だけでなく地域・学校・企業など様々な機会をとらえた市民啓発を推進しています。そこで、おたずねします。

北九州市では、障害や障害のある人に対する正しい理解が浸透し、不当な差別的取扱いの無い、合理的な配慮が提供される社会になったと感じますか（○は1つだけ）

- 1 そう感じている
- 2 どちらかといえばそう感じている
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえばそう感じていない
- 5 そう感じていない
- 6 わからない

3. 共生社会の実現に向けた取り組みについて

問12 北九州市では、障害の有無にかかわらず、すべての市民が、互いの人格や個性を尊重し合いながら、安心していきいきと暮らすことのできる共生のまちづくりを目指しています。今後、地域で生活する障害のある人とかがわっていく中で、あなた自身が地域の一員としてできると思うことは何ですか。次の中から、あてはまるものを選んでください（〇はいくつでも）。

- 1 普段から定期的に声かけなどをして見守る
- 2 趣味やスポーツを一緒にする
- 3 簡単な身の回りの世話や外出時の付き添いをする
- 4 外出先等で困っている障害のある人を見かけたときに、声かけや手助けをする
- 5 障害のある人を支える地域活動やボランティア活動に参加する
- 6 災害時の避難する際の声かけや手助けをする
- 7 障害者施設等で作ったものを購入する
- 8 わからない
- 9 その他（具体的に： _____）

問13 あなたは、障害福祉施策を充実させるために北九州市が取り組むもののうち、今後、特に力を入れるべき取り組みは何だと思えますか。次の中から、あてはまるものを選んでください（〇はいくつでも）。

- 1 安全で快適な道路や歩道の整備、建物や交通機関のバリアフリー化を進める
- 2 障害のある人の人権を尊重し差別を解消するための啓発活動を促進する
- 3 障害のある人への理解を深める福祉教育を充実させる
- 4 企業・事業所などにおける障害者雇用を促進する
- 5 早期からの障害児支援（医療や教育など）を充実させる
- 6 重い障害がある人に対する取り組みを充実させる
- 7 入所施設やグループホームなどの住まいの場の整備を進める
- 8 災害時などの情報提供や避難誘導などの障害のある人への対応を充実させる
- 9 障害のある人を支える地域活動やボランティア活動を活性化させる
- 10 障害のある人が地域のコミュニティやまちづくり活動へ参画することを支援する
- 11 スポーツやレクリエーション、文化・芸術・余暇活動の推進など、障害のある人の社会参加を促進する
- 12 福祉サービスや医療費助成を充実させ、人材確保に努める
- 13 成年後見制度など障害のある人の権利擁護を推進する
- 14 障害のある人の家族などが利用しやすい相談体制を充実させる
- 15 障害のある人の情報の取得・意思疎通など、コミュニケーションの支援（手話・点字など）を充実させる。
- 16 わからない
- 17 その他（具体的に： _____）

問14 北九州市の障害福祉施策について、その他ご意見がありましたらご自由にご記入ください。

※ ご協力ありがとうございました。

令和7年度 北九州市障害福祉サービス等
ニーズ把握調査

報告書

令和8年3月
北九州市保健福祉局